

1 あいさつの習慣をつけよう。

おあしすさ（おはよう、ありがとう、しつれいします、すみません、さようなら）を言えるようにしましょう。

**2 朝ごはんは毎日食べさせよう。**

早寝、早起き、朝ごはんを心がけましょう。

3 帰宅時間を守らせよう。

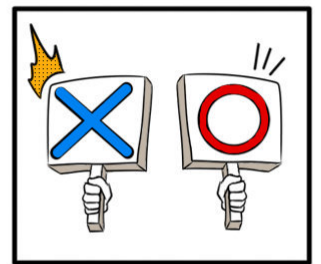
約束した帰宅時間を守らないと心配するということを子供に伝えましょう。

4 帰ってきたら宿題とお便りをチェックしよう。

学校からのお便りは大切なお知らせですので必ず目を通しましょう。

5 家族の一員として役割をもたせよう。

手伝いをすることで出来る事が増えていきます。子供の自立のためにも出来る事から始めてみましょう。

**6 家族の会話を大切にしよう。**

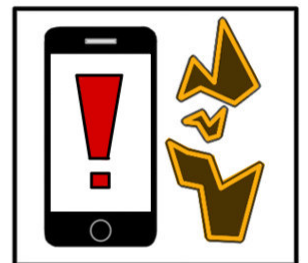
今日あったことを親子で話し合い、子供が頑張ったことは褒めましょう。

7 親が手本を示し社会のルール、事の善し悪しを教えよう。

口であれこれ言うより、まず親が手本になる行動や言葉遣いを見せましょう。

8 感謝と思いやりの気持ちを育てよう。

相手の立場になって考えることが思いやりの心を育てます。

**9 清潔を心がけ、子供の身だしなみに気を配ろう。**

校則（中学部）、みんなのきまり（小学部）で決められた頭髪・服装を守りましょう。

10 携帯電話、インターネットはルールを作って守らせよう。

携帯電話を子供に持たせることには危険が伴います。
最終的な責任は親にありますので、本当に必要なのか親子でよく話し合ってみましょう。
また、インターネットは親の管理のもとで使用させましょう。